部落解放要求貫徹請願大行進！

三池労組も参加　九月十一日・福岡を出発

三池闘争のなかで、赤旗に鉢巻の黒をえがいた部落解放同盟の旗が、三池の仲間たちを励ましてくれた。その旗が今月十一日福岡を出発東京に向う。これは部落解放同盟のよびかけにこたえて社、共両党、総評、炭労、日教組、全自労、その他民主団体で「部落解放要求貫徹請願運動全国委員会」が結成され、部落解放要求貫徹請願大行進をおこすことになつたものである。

三池闘争のなかで、炭労の政策転換要求大行進……秋から冬への闘いはいやおうなく激しくなる情勢にある。この緊迫する情勢の中心をなすものは、炭労の大行進であり、部落解放同盟の大行進である。

政暴法再提出が予想される臨時国会の開会もせまり、また国鉄、炭労、教組、自労などの激しい闘い部落解放要求大行進、炭労の政策転換要求大行進……秋から冬への闘いはいやおうなく激しくなる情勢にある。この緊迫する情勢の中心をなすものは、炭労の大行進であり、部落解放同盟の大行進である。

炭労も準備委員会に参加

八月二十六日、部落解放要求貫徹請願運動全国委員会結成準備委員会が東京衆院第三議員会館でひらかれた。同盟から松本治一郎委員長、田中織之進書記長、野本常任中央委員、炭労佐藤中執、日教組林中執ほか日中友好協会、国民救援会、共産党など約二十名が集まつて懇談した。

席上、田中書記長から同盟運動の現状、大行進についての各民主団体の協力要請がおこなわれ、とくに炭労の石炭政策転換要求大行進との協力について話し合われた。

百万人の署名運動を展開

そして八月二十八日の部落解放記念日に大阪で前記準備委員会が正式に委員会として発足した。この委員会には社会党、共産党をはじめ総評、炭労、自治労、日教組、全自労、全自農、平和団体、市民団体が幅広く参加している。

同委員会は九月十一日に福岡を出発、十月十日東京に到着する部落解放要求貫徹請願大行進をおこすことをきめた。そして大行進の中で、百万人の署名、一人十円カンパを提起することをきめた。

なお三池労組からも代表一名を行進に参加させるよう話し合いと準備をすすめており、署名カンパはすでに各支部ごとに強化中であり、みんなの大きな協力がまたれている。

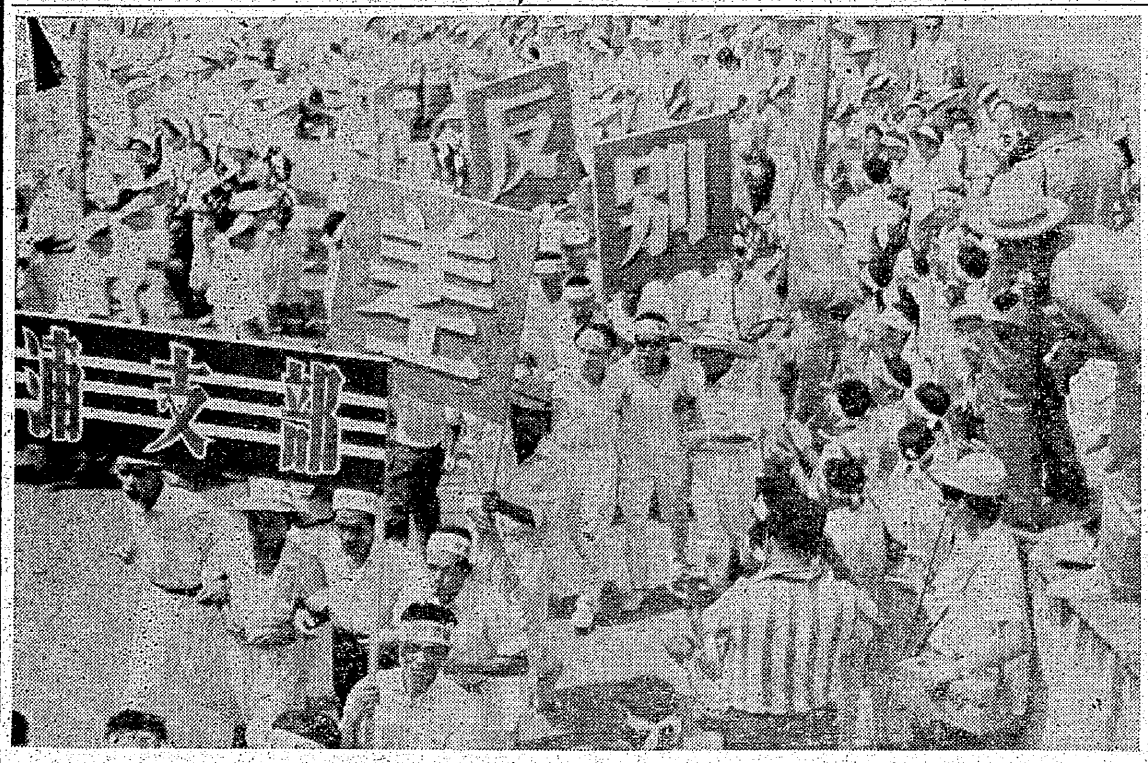
（解説）

広島県福山市における結婚差別事件を裁判所や検察庁がいつそう助長したり、三池闘争のさいの差別事件のように、未解放部落にたいする差別は、さいきん露骨で悪質となつている。

また結婚問題で自殺する部落出身者が増加したことも、最近の特徴である。部落解放同盟では、四年前から政府にたいして部落解放のための国策樹立を要求、昨年八月やつと内閣に同和対策審議会の設置がきまつたが、政府はこの一年間委員の人選さえしないで、その実行をサボつている。その上、昨年五月から政府や自民党の肝入りで、全日本同和会を発足させ、部落解放運動を分裂させようとたくらむなど、部落解放の意志のないことを暴露してきた。

こんどの大行進の目的は、内閣審議会の活動を促進して、緊急通りに権利と生活を保障させることにあるが、あわせてこの行進の中で六千部落（現在の同盟組織率二五%）全部を立ち上がらせ、また民主団体や労組に部落問題についての正しい理解をしてもらうことを期している。

なお「部落解放記念日」は明治四年八月二十八日に政府が太政官布告で四民平等の宣言をおこない、封建的な身分制を廃止した日である。



不当差別へのはげしい怒りをこめて本社へ抗議デモ
（9月3日差別反対決起大会のあと）

統一と団結守る

日炭高松四カ月の斗争

五月十六日の無期スト突入から九十六日のストライキを闘つた日炭高松労組の合理化反対闘争の経過はあらましつぎのとおりである。

闘いの発端は今年の三月六日、会社は赤字経営を解消するための方策として「二百万トンの出炭確保達成を目的に(1)人員関係（職場の統合廃止、配置転換）(2)賃金関係（賃下げ）(3)作業場の規整(4)有給休暇の改訂(5)その他」という労働協約や諸協定をふみにじる大幅な合理化案を提案してきた。会社はこの合理化案を四月から一方的に強行することによつて、組合員一人当り平均八、〇〇〇円以上の賃下げをおこない、一カ月六、四三〇万円、一年間に七億七〇〇〇万円のぼう大な利潤の獲得を意図した。

これにたいして日炭高松労組は、全項にわたる反論と対置要求十二項目をきめて団体交渉をつづけたが、四月十六日会社側が一方的実施通告をおこなつたので決裂した組合は長期に闘いぬく体制を確立していく方針で、四月十八日以降毎週四十八時間の反復ストの戦術を実行した。

けれども日炭資本は、五月六日、一方的に合理化案の一部を強行する通告をおこなつたため、組合は五月十六日以降全面ストに突入した。無期スト突入以降会社は、つぎつぎに第二次修正案から第五次修正案を提案した。八月一日に提案された第五次案の内容は「(1)中央工場は廃止せず縮小する。廃止のところの人員整理に本人の希望も考え、会社が別に指定する坑内外の間接職場に配転する、間接人員の配転については別に協議する(2)賃金関係では協定の厳正な運営をおこなう。パン、ポケット払の標準作業量は現行の五%アップ（最初の提案は一五%アップ）、坑内運搬夫の基本給は固定給および能率給とし六対四の比率とする……」という内容のもの。

組合は、長期闘争で会社を苦境におとし入れ、打撃を与えた。その結果が第一次案を大幅に修正した第五次案となり、期末手当も大手八社なみの要求を獲得することができた。

日炭高松労組はこの闘いのなかで七千五百人の組合員の団結を守り分裂を防ぎ統一して闘つた。日炭高松の労働者の闘いは、三池とならぶ輝やかしい闘いの歴史をつくつた。

またこの闘いのなかで「合理化反対、社・共・労の共闘会議」が生まれ、共闘のひろがりゆくなかで大きな役割を果したのであつた。

荒尾、名古屋間を自轉車で走破（3）

支援御礼と実情報告　四山の山本さん

自転車で西宮まで逆戻りすると一時間はかかると聞き困つてしまつた。

社青同にはおわびの電話をいれて別れたが大失敗であつた。旅館に着いたのは午後八時すぎでうす暗かつた。何もする気がなくフロに入つた。体重は六キロも減つていた。正味五十一キロである。フロからあがると気力がぬけてしまいガツクリして畳に大の字になる。少し落着いてからうつぶせになり日記を書きはじめた。日記を書いているうちにいつの間にか日記帳に頬を押しつけ、鉛筆を握つたまま翌朝の八時半ごろまで眠つていた。大阪に着いたという安心感に今までの疲労が一度にでてきた。

相生駅ー大阪　一一八キロメートル　二十九里。

大阪まで七二四キロメートル（一八一里）を出発時からちようど一週間で到着した。この間病気もしなかつたし自転車の故障もなかつた。雨にも一回も会わなかつた。大阪まで酷暑を克服してがんばつた。

石原産業労組へ着く

○…二十三日　午前九時半旅館を出発。日曜日のせいか車が非常に少なく楽だつた。石原産業労働組合には約一時間で着いた。日曜日だから組合員の姿は見えず赤旗が何十本とたちならび風になびいていた。秋沢闘争委員長、書記長の山岡さんらにあつて話しあい、その日は寮にとめてもらつた。

○…二十四日　石原寮を出て大阪地評へ、地評では四山支部出身の宮崎さん、三川支部出身の西川さんにあつた。そのあと淀川製鋼所労組をたづね太田書記長と約三時間話し合つた。午後四時すぎ石原寮にもどつて、会社前の広場に集つている四十名位の組合員の方々にたいして、三池闘争にたいするおれをドモリながらのべ、「がんばろう」を合唱して解散した。そのあと七時まで石原労連の仲間と懇談会をもつた。

○…二十五日　午前八時石原寮を出発、京都の全事売労組、京都支部三池を守る会に十時ごろ着く。午後七時から九時まで「京都支部三池を守る会」と懇談会をもつ。出席者七、八名。

大阪ー京都　四九キロメートル　十二里。

○…二十六日　京都を午前九時出発して二条城と平安神宮をそれぞれ二十分位見学して日暮アセテート守山工場労組へ。

京都ー守山労組　三五キロメートル　約九里。

俳句

差別に耐えて

宮浦支部　永野　草平

団結のもの曳く蟻にこころ寄せ
日盛りに内助の妻のショベル執る
差別にも挫けぬこころ焼酎飲む
虫聞いて正しく進む世を信ず
夏痩の身をいましめて坑内務め

三池がんばれ

全國の仲間から激電殺到

長期にわたつて精力的につづけられてきた山元ートップ交渉が、あくまで差別攻撃で対決をせまつてきた会社の高姿勢な態度によつて決裂し、三池労組が闘争体制に入つたことを知つた全国の仲間から三池労組に激れいの電報が殺到している。

これらの仲間のはげましにこたえて、ねばり強く不屈にたたかいぬく決意をみなぎらせるとともに、みんなで三池の実態を知らせるため積極的な交通活動をおこそう。

ここに九月三日までにとどいた激れい電報の一部を紹介しよう。

○差別と切り崩しを排し、断固たたかわれんことを、われらも三池と共に前進せん。

社会主義協会

○敵のついげきにたいし、なおたたかいぬく三池の同志がんばれ

われらもつづく。差別を廃止しすべてを平等にたたかいとろう

古川下山田労組

○差別と切りくずしをはねかえしてたたつ貴組合に敬意を表し、われら立川労組ここから拍手をおくる。

立川労組

○職場のファッショ、敵の攻撃と対決し、ふたたびはげしいたたかいに決起された貴労組に全石連をあげて支援をおくります。石原労連は一四七日の長期闘争をたたかいぬき、経営近代化、労資関係の近代化に一応の成果をあげ、賃上げ夏期一時金をたたかいとることができました。貴労組の同志愛あふるる御支援にこころから感謝するとともに今後相共にたたかいぬくことを誓う。

石原労連

○三池労組の不屈の闘魂にこころから敬意を表します。統一と団結で資本の意図を粉砕し、勝利へむかつてたたかい進もう。

小城支部

○三池に三池労組のある限り、三池の火は消えない。三池にくわえられた差別は、ひとしくわれらにくわえられた敵の攻撃である。三池の火を消すことなく、三池の火をまもつて共にたたかおう。

崎戸労組

○悪らつなる会社の差別待遇にかんぜんとたたかう意欲を結集するための貴労組の総決起大会に敬意を表し、われらも共にたたかうことをちかう。

北村秀二

○独占資本の悪らつな攻撃に抗して、最後まで労働基本権獲得のため闘われんことを祈る。われらも共に手をとり闘う。

社青同大町支部

○炭労統一闘争の拠点として、再び決起した貴労組の戦闘性に敬意を表する。安保破棄、合理化粉砕をめざして共に闘おう。

九産労

○独占と職制の圧迫を粉砕し、差別待遇を自信をもつて排除せよ

小倉炭鉱労働組合

○敵の一方的な悪らつな差別待遇にわれわれもいきどおりを感じ政策転換闘争と結合させ、全労働者の団結の旗の下にわれら共に断固闘うことを明らかにし、貴労組の組織発展をも併せて祝賀ろう。

古河日尾労組

○困難な前途を、踏まれてもけられても手をつないで闘おう。大会の成功を祈る。

社会党大町支部

○基本権を守るため、差別と闘う三池の仲間に心からの敬意と支援を送り、大会の成功を祈る。

二瀬労組

○差別をはねかえし、闘う決起大会にあいさつを送る。われらも職場闘争を進めている。今後共ともに闘うことを誓う。

日炭高松労組

○悪らつ不当なる会社に猛省を促すため一層の団結を祈り、大会の成功を祈ります。三池労働者万歳。

参議　阿部竹松
阿員根　登

○苦しい情勢のもと、敢然と闘いを続けている貴労組の決起大会に対し心から敬意を表します。われらも共に闘おう。断固頑張ろう。

大峰労組

○会社の悪らつな差別に対し、断固闘う同志の闘魂に深く敬意を表わすと共に、正しき闘いと最後の勝利を確信して大会の成功を祈る。

多賀谷　真稔

○組合の破かいをねらう差別を、仲間の手と手ではね返そう。

熊本訓練所離職者一同

○決起敢闘の同志に激励の拍手を送る。頑張ろう。

（以下翌週へつづく）